

アイヌ地名の分布と 北海道の鉄道路線の今昔について

NPO法人Digital北海道研究会
事務局 三好 達也

NPO法人Digital北海道研究会の活動

- NPO法人Digital北海道研究会とは・・・
 - 2006年にNPO法人化
 - 理事長：齊藤誠一（北海道大学）
 - 副理事：金子正美（酪農学園大学）
 - 副理事：橋本雄一（北海道大学）
 - 「北海道の全てをデジタル化する」ことを目的に、地理空間情報やリモートセンシング等を通じた活動を行っています。
 - 講習会を通じた人材育成
 - GISのコンサルティング
 - データ整備配信

GIS用の凡例を作成しています



会員を随時募集中です！！（個人・法人）

今回のテーマ

過去のデータを表現する

- 現在のデータやこれからのデータは、これからどんどん出来るが・・・
- 過去のデータは不要なのか？
 - 過去のデータを郷土教育に利用
 - 経年変化の比較による公共事業・ビジネスへの利用
- 例えばどういうデータあるか
 - 過去の交通網（鉄道・道路）
 - 過去の地形（河道・地形）
 - 過去の地名（アイヌ語地名）

過去のデータに対して 地理院地図キットは使えるか？

- マップシート

- Excelベースのジオコーダー

- データベースが“現在の住所”なので、極端な過去には使えない

- マップメーカー

- 簡易的なデスクトップGISソフト

- GISデータ作成機能が無いのでデータそのものは作れない
- QGISなどで作ったデータを表示したり変換することは可能

- マップケース

- 簡単にWebGISビューワーをセッティングできるキット

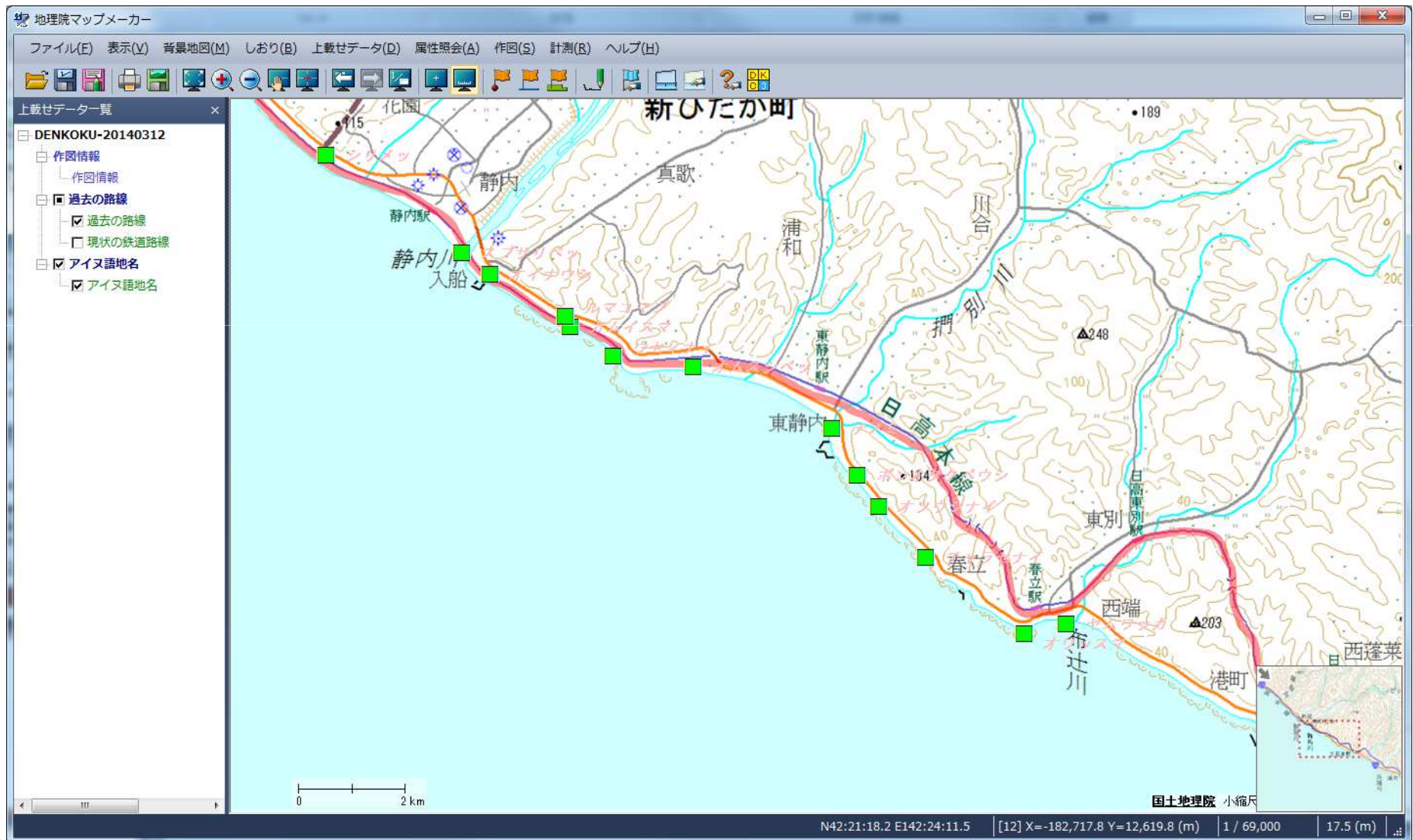
- 作成したGISデータを簡単にWebGISとして公開が可能

アイヌ語地名

- アイヌ語地名は、現在わかっているだけでおよそ8万点
- 地名研究者は、文献調査がメインなので、まともな地図にプロットしている人は、ほとんど居ない（手書きの地図が多い）
- 地名は“地点”であるため、当該地名をどこまで適用するか？
- アイヌ語地名ジオコーダがあると、現在の住所から過去の地名を引ける可能性



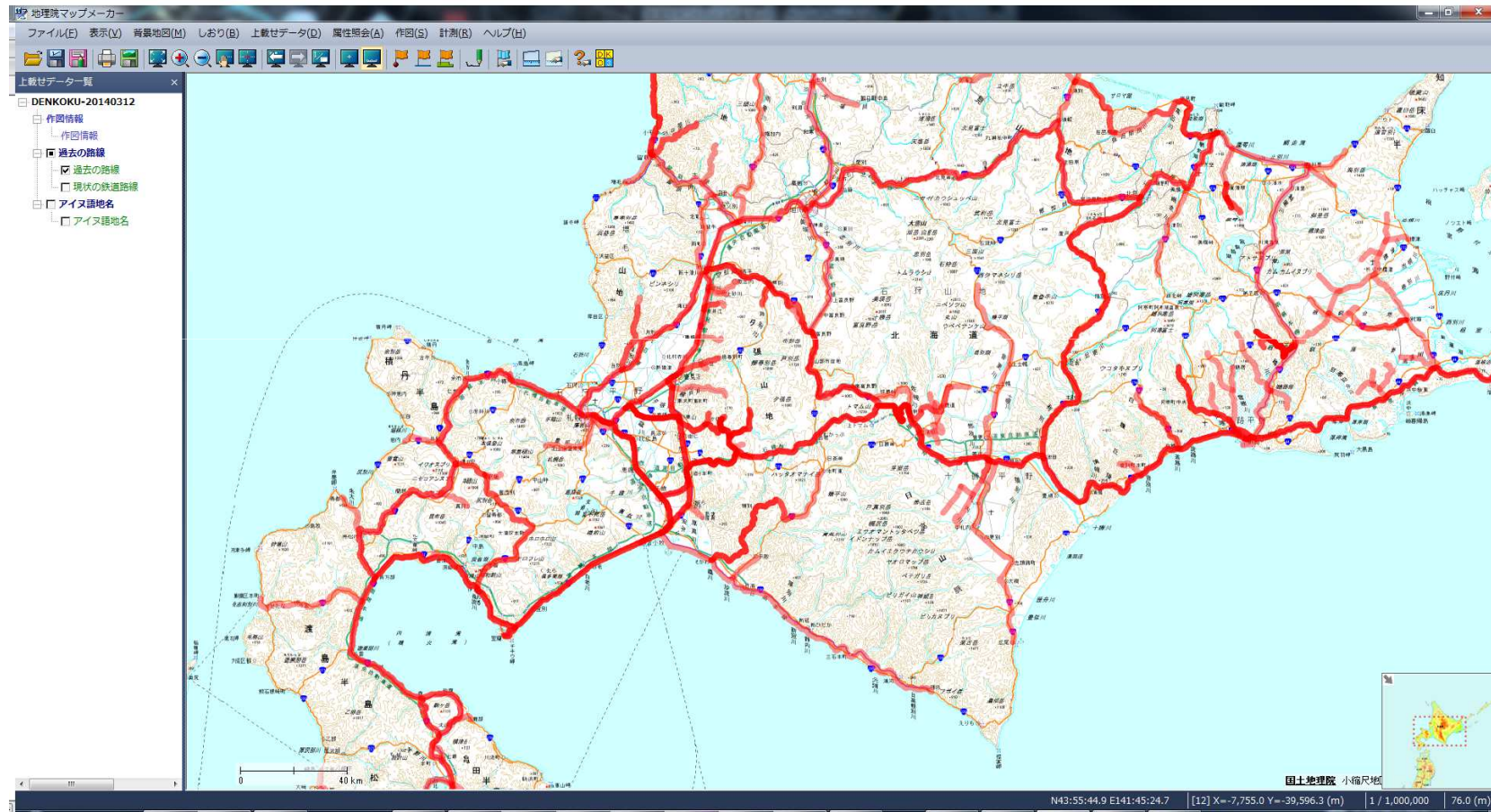
アイヌ語の地名をプロット



計画中止された路線の情報収集

- **古い時刻表の路線図**
- **インターネットで検索**
- **旧版地図を閲覧**
- **過去の空中写真を利用する**

過去の鉄道路線をプロット



国土数値情報と自分で調べた資料からプロット

マップケースで簡単に共有

The screenshot shows a web browser window displaying a map of Hokkaido, Japan. The browser's address bar shows a file path: `file:///F:/地理院/カスタム/mapcase_131226/mapcase_131226/map/index.html#zoom=8&lat=43.50614&lon=141.75522&layers=BTTTTTTT`. The page title is "庁内情報共有マップ" (Intra-office Information Sharing Map). The map displays Hokkaido with various geographical features, including mountains like Daisetsuzan (2291m) and Mt. Rausu (2053m), and rivers like the Ishikari River. A sidebar on the left contains a "共有情報(サンプル)" (Sample Shared Information) section with checkboxes for "現在の鉄道路線" (Current railway lines), "過去の鉄道路線" (Past railway lines), and "アイヌ語地名" (Ainu place names). The "現在の鉄道路線" checkbox is checked. Below the sidebar, there is a "過去の鉄道路線" (Past railway lines) section with a "透過率調節" (Transparency adjustment) slider set to 0. The browser's status bar at the bottom indicates "ユーザ体験の向上のため、Firefox は自動的にいくつかのデータを Mozilla に送信します。" (To improve user experience, Firefox automatically sends some data to Mozilla.) and a "共有するデータを選択(C)" (Select data to share) button.

セッティングに要した時間5分。もちろんノンプログラミング

まとめ

- 過去のデータを地理院地図キットだけでは作成することはできない（QGIS等と連携する必要がある）
- マップケースは、低コストで簡単にWebGISを作成できるので、非常に有効な手段。
- 地理院地図（今のデータ）と自分で作った過去のデータを組み合わせることで、今昔を知れる！！